

や市教委によると、10月をめどに建設を始め、本年度内の

完成を目指す。

ロボットコンテスト「WRO」

松本秀峰2年生長野大会V

茅野市で8月に開かれたロボットコンテスト「WRO（ワールド・ロボット・オリンピアード）Japan 2017長野大会」中学生部門で、

松本市の松本秀峰中等教育学校2年の山本遼さん（14）、百瀬公多朗さん（13）、小林幸太郎さん（13）はいずれも松本市のチームが優勝した。3人は5日、都内で17日に開く全国大会への意気込みを語った。

インに沿って走らせたり、色を識別してブロックを指定の場所に運んだりしてプログラミング技術を競う。長野大会中学生部門には同校の他の5

チームを含む11チームが参加し、唯一満点を獲得した。

3人はプログラミング経験はほとんどなく、同校教諭の瀬川伸さん（40）の手ほどきで一から勉強。試作したロボットを動かし、プログラムのミスをその都度見つけ出しながら精度を高めてきた。「速さよりも正確さ」を重視したロボットを目標にしたという。

小林さんは長野大会を「不安な点もあつたが本番でうまく動いてくれて良かつた」と振り返り、百瀬さんは「全国大会では速度も大事。大会までに改良したい」。山本さんは「全国大会でも優勝を狙いたい」と目標を掲げていた。



自作のロボットを手に話す（左から）小林さん、百瀬さん、山本さん